

平成24年度第一回 福祉医療費助成制度に関する研究会 議事要旨

1. 日 時 平成24年6月7日（木）14：00～16：00
2. 場 所 大阪府庁新別館南館5階 市町村長会事務局 第4研修室
3. 研究会メンバー ○大阪府市長会を代表する者
岸和田市 保健福祉部長
箕面市 市民部長（担当課長補佐が代理出席）
貝塚市 健康福祉部長
大阪市 生活福祉部部長
摂津市 保健福祉部長
大東市 福祉・子ども部長（担当次長が代理出席）
松原市 欠席
○大阪府町村長会を代表する者
島本町 民生部長
熊取町 健康福祉部長
太子町 健康医療室長
○大阪府
福祉部国民健康保険課長

4. 議事概要

第一回の研究会開催に当たって、大阪府福祉部国民健康保険課長よりあいさつがあった。

(1) 座長の選出について

出席者の互選により、岸和田市保健福祉部長を座長に選任した。

(2) 研究会の進め方について

事務局から、資料2により平成22年度に決定した「検討の進め方について」を再確認した。

(3) 抜本的見直しにおける主な課題等及び今後の検討スケジュールについて

事務局から、資料3に沿って、抜本的見直しにおける主な課題等について説明し、意見交換を行った。

その後、資料4に沿って、平成24年度における研究会・WGの開催予定案を説明し、原案どおり決定した。

(4) 上記(3)に係る委員からの発言

- ・ 今後は、WGにおける詳しい資料や議論を踏まえて、しっかり議論したい。
- ・ 国制度・国会の動向も流動的な中で、国の動向をしっかりと見極めながら、積極的に議論していきたい。
- ・ 大阪府の乳幼児医療費助成制度の補助対象年齢については、全国平均に比べても低いことから引き上げや、府内市町村間で対象年齢の引き上げ競争にもなっていることから競争を招かないようにして欲しい。
- ・ 市町村の乳幼児医療費助成制度の対象年齢は、財政上の問題等も含めて総合的に勘案し判断している。
- ・ 市町村の乳幼児医療費助成制度の対象年齢や所得制限については、住民の拡充要望も強い一方、行財政改革が求められている中で、独自財源での拡充については課題が多いが、この研究会の議論・結論を踏まえて、判断していきたい。

- ・ 在宅で高度の医療的ケアが必要な障がいのある乳幼児の訪問看護療養費について、別の利用料助成制度ではカバーされない範囲があるため、乳幼児医療費助成制度の対象として欲しいという要望があることから、あらためて意見をお聞きしたい。
- ・ 訪問看護療養費について、他の三医療とのバランスもあり、乳幼児医療費助成制度の対象とすることには課題が多いのではないか。

以 上